

# アランマーレ富山とひまわり迷路作成

ひまわりサークル

## 目的

どのようにひまわり迷路を地域と一緒に今後、受け継いでいくか？

## 背景

コロナの影響で地域へ名が聞かれることが少なくなった。

アランマーレ富山と協力し、お互いの活動を地域に知ってもらう。

ダ・ヴィンチ祭に向けて出展するため。

## 実施

クイズ形式の迷路を作成した。

昨年度簡単すぎたという意見を参考にと迷路の難易度を上げた。

子供たちが楽しめるようにゴールした後に折り紙の景品を用意した。

ダ・ヴィンチでひまわり迷路を行っていることを知ってもらうために地域協同支援室の協力を得て、大学内6か所にバナーを設置。

猛暑の中迷路を維持するために除草剤を迷路の道に散布。

迷路の形を上から見ると富山県立大学のロゴとなるようにした。

地域の方に親しみを持ちやすくするためにサークルのマスコットキャラクターを作った。



## 結果

今年のひまわり畑の来場者数が約700人

インスタのフォロワー数約200増加

子ども連れの方や有志団体の方が多数来場

カメラマンや新聞社などから取材を受けた

しかし、ひまわりが予定されていた1/5ほどしか咲かなかった。考えられる原因→害鳥による食害、外来種の侵略、浸水による種の腐食など



## 今後に向けて

思うように咲かなかった原因の対策を行う。

アランマーレ富山にとっても、メリットのある事を行う。

SNSやメディアを通して、大学やサークル、アランマーレ富山の宣伝を行う。

新しいことに挑戦する。



